

2026.4 – 2026.9

コースフロー / コースカリキュラム

## ビジネスアーキテクト

---

社会や顧客のニーズを的確に把握し、ビジネス領域の問題を分析して課題を特定し、迅速に課題解決へと導くための要件定義を行う  
ビジネスアーキテクトの活動を体系化した領域です。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/>  
日立アカデミーWebサイト

※本ガイドは2025年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。  
※オンライン研修または集合研修の開催時間については、当社Webサイトでご確認ください。

# ビジネスアーキテクト

ビジネスアナリシスのフレームワーク、ビジネス戦略に沿った企画立案、ビジネス要求に沿った価値提供を確実にする要件定義、業務プロセス改革を推進するための可視化技術など、ビジネスアーキテクトに必要な知識・技法を修得できます。

## 事業戦略・投資管理・ビジネスモデル

ビジネスアナリシスのフレームワーク～企業の変革を成功に導くために～

レベル1	レベル2	レベル3
	<div> <b>PDU CDU</b>  <b>CTV078</b> オンライン  (PDU)(CDU) ビジネスアナリシス基礎  【パーソル総合研究所 ライブ配信】  レクチャ   2日間 </div> <div> <b>Renewal PDU CDU</b>  <b>CDV042</b> オンライン  (PDU)(CDU) CBAP®試験対策コース  【パーソル総合研究所 ライブ配信】  レクチャ   3日間 </div> <div> <b>PDU</b>  <b>CDV028</b> オンライン  (PDU) IT経営ストラテジ (デジタル経営実行計画コース)  【パーソル総合研究所 ライブ配信】  グループ演習   2日間 </div>	<div> <b>PDU</b>  <b>CDV029</b> オンライン  (PDU) IT経営ストラテジ (デジタル経営戦略コース)  【パーソル総合研究所 ライブ配信】  グループ演習   2日間 </div> <div> <b>PDU</b>  <b>CDV016</b> オンライン  (PDU) IT経営ストラテジ (変革認識コース)  【パーソル総合研究所 ライブ配信】  グループ演習   2日間 </div>

ビジネス戦略に沿ったシステム企画立案～IT投資に見合う企業価値創造のために～

レベル1	レベル2	レベル3
<div> <b>CTV098</b> オンライン  IT主導で攻めのビジネスを実現するためのビジネス要件とIT企画の作り方  レクチャ   1日間 </div>	<div> <b>PDU CDU</b>  <b>CTV087</b> オンライン  (PDU)(CDU) ビジネスアナリシスに基づいた業務改善の顧客提案  【パーソル総合研究所 ライブ配信】  グループ演習   2日間 </div> <div> <b>New PDU</b>  <b>PMV126</b> オンライン  (PDU) ビジネス価値を見える化する戦略的IT投資効果の評価手法  レクチャ   1日間 </div>	

ビジネス要求に沿った価値提供を確実にする要件定義～企画・提案の実現性を担保する～

レベル1	レベル2	レベル3
<div> <b>PDU CDU</b>  <b>CTV089</b> オンライン  (PDU)(CDU) 要件定義スキル基礎～ロールプレイによる要求の引き出し～  グループ演習   2日間 </div>	<div> <b>Renewal PDU CDU</b>  <b>SPV105</b> オンライン  (PDU)(CDU) システムのニーズ分析  グループ演習   2日間 </div> <div> <b>業務要件(業務改革) Renewal PDU CDU</b>  <b>SPV106</b> オンライン  (PDU)(CDU) 要件定義における業務の可視化を成功させるトレーニング～業務コースから導くシステム化要件～  グループ演習   2日間 </div> <div> <b>ユーザー要件 PDU CDU</b>  <b>CTV090</b> オンライン  (PDU)(CDU) ビジネスニーズに沿ったユーザー要件定義の実践力強化  グループ演習   2日間 </div> <div> <b>システム要件 PDU CDU</b>  <b>CTV091</b> オンライン  (PDU)(CDU) 上位ニーズから不断なく正確にシステム要件を定義する実践力強化  グループ演習   2日間 </div>	

レベル1 : 要件定義の経験がほとんどない方、または、要件定義の経験が比較的浅い方  
 レベル2 : 要件定義の経験がある程度ある方で、マネージャ候補の方、またはマネージャとして活動を開始された方  
 レベル3 : 複数の要件定義の経験を有し、マネージャとして活動されている方

業務プロセスの改革を推進～システム企画立案・要件定義で必須の可視化技術～

レベル1	レベル2	レベル3
<div>CTV099 オンライン</div> <div>現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法</div> <div>レクチャ   1日間</div>	<div><b>Renewal</b> PDU CDU</div> <div>SPV106 オンライン</div> <div>(PDU)(CDU) 要件定義における業務の可視化を成功させるトレーニング～業務ニーズから導くシステム化要件～</div> <div>グループ演習   2日間</div>	
<div>CTV100 オンライン</div> <div>既存システムの改修/リプレースのための現行システム要件と利用業務状況の洗い出し方</div> <div>レクチャ   1日間</div>		

システムの企画立案から要件定義（要件定義以降を含めた）までの人財育成

レベル1	レベル2	レベル3
<div>企画</div> <div>CTV098 オンライン</div> <div>IT主導で攻めのビジネスを実現するためのビジネス要件とIT企画の作り方</div> <div>レクチャ   1日間</div>	<div>PDU CDU</div> <div>CTV087 オンライン</div> <div>(PDU)(CDU) ビジネスアナリシスに基づいた業務改善の顧客提案【パーソル総合研究所 ライブ配信】</div> <div>グループ演習   2日間</div> <div><b>New</b> PDU</div> <div>PMV126 オンライン</div> <div>(PDU) ビジネス価値を見える化する戦略的IT投資効果の評価手法</div> <div>レクチャ   1日間</div> <div>PDU</div> <div>CDV028 オンライン</div> <div>(PDU) IT経営戦略（デジタル経営実行計画コース）【パーソル総合研究所 ライブ配信】</div> <div>グループ演習   2日間</div>	<div>PDU</div> <div>CDV029 オンライン</div> <div>(PDU) IT経営戦略（デジタル経営戦略コース）【パーソル総合研究所 ライブ配信】</div> <div>グループ演習   2日間</div> <div>PDU</div> <div>CDV016 オンライン</div> <div>(PDU) IT経営戦略（変革認識コース）【パーソル総合研究所 ライブ配信】</div> <div>グループ演習   2日間</div>

要件定義/業務の可視化

<div>PDU CDU</div> <div>CTV089 オンライン</div> <div>(PDU)(CDU) 要件定義スキル基礎～ロールプレイによる要求の引き出し～</div> <div>グループ演習   2日間</div> <div>CTV099 オンライン</div> <div>現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法</div> <div>レクチャ   1日間</div> <div>CTV100 オンライン</div> <div>既存システムの改修/リプレースのための現行システム要件と利用業務状況の洗い出し方</div> <div>レクチャ   1日間</div>	<div><b>Renewal</b> PDU CDU</div> <div>SPV105 オンライン</div> <div>(PDU)(CDU) システムのニーズ分析</div> <div>グループ演習   2日間</div> <div>PDU CDU</div> <div>CTV090 オンライン</div> <div>(PDU)(CDU) ビジネスニーズに沿ったユーザー要件定義の実践力強化</div> <div>グループ演習   2日間</div> <div>PDU CDU</div> <div>CTV091 オンライン</div> <div>(PDU)(CDU) 上位ニーズから不断なく正確にシステム要件を定義する実践力強化</div> <div>グループ演習   2日間</div> <div><b>Renewal</b> PDU CDU</div> <div>SPV106 オンライン</div> <div>(PDU)(CDU) 要件定義における業務の可視化を成功させるトレーニング～業務ニーズから導くシステム化要件～</div> <div>グループ演習   2日間</div> <div>CTV101 オンライン</div> <div>業務のIT化を推進するための新業務フロー作成技法とシステムへの要求のまとめ方</div> <div>レクチャ   1日間</div> <div>開発工程全般・企画・設計</div>	
---	--	--

**PDU** : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。3年間で60PDUが必要です。

**CDU** : CBAP®/CCBA®資格更新に必要なポイント(CDU)を取得できます。3年間で60CDUが必要です。

**音声有・説明文有** : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)

**音声有・説明文有** : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)


**音声なし・説明文有** : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

レベル1	レベル2	レベル3
システム要件定義以降	<div><div><div>SPV135   オンライン</div><div>後工程で慌てない！ ユーザ／業務要件の漏れを 未然に防ぐシステム要件定義のコツ</div><div>レクチャ   1日間</div></div><div><div>SPV133   オンライン</div><div>開発の手戻りを最小限にする システム要件の品質チェックと 基本設計のコツ</div><div>レクチャ   1日間</div></div></div> <div>開発工程全般・ 企画・設計</div>	
BABOK® 関連	<div><div><div>CTV078   オンライン</div><div>(PDU)(CDU) ビジネスアナリシス基礎 【パーソル総合研究所 ライブ配信】</div><div>レクチャ   2日間</div></div><div><div>CTV087   オンライン</div><div>(PDU)(CDU)ビジネスアナリシス に基づいた業務改善の顧客提案 【パーソル総合研究所 ライブ配信】</div><div>グループ演習   2日間</div></div></div>	

開発工程全般・企画・設計

オンライン

コースコード CDV028



グループ演習

2日間

(PDU) IT経営ストラテジ  
(デジタル経営実行計画コース)

【パーソル総合研究所 ライブ配信】 **PDU**

このコースは、ITコーディネータ協会が発刊する「ITコーディネータ・プロセスガイドライン」に準拠し、デジタル経営を推進するプロセスとして「価値実現サイクル」の「デジタル経営実行計画プロセス」、「IT開発・導入プロセス」および「価値提供・運用プロセス」を中心に学習します。

このコースでは、企業ケース事例を用いながら価値実現のための「デジタル経営実行計画」や「IT開発・IT導入計画」を立案し、その実行を評価する「IT利活用による価値の提供アクティビティ」の活動を通じて「改善案やアクションプラン」の実行の重要性を理解します。

このコースは、「経済産業省推進資格ITコーディネータ」を取得するための「ケース研修の受講・修了」の一部として認定され、ITコーディネータ資格の取得をめざす人にとって推奨される研修になっています。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：16ポイント)の取得が可能です。

到達目標

- IT化が経営戦略に基づくものであることを理解できる。
- ITユーザー企業視点に基づいたIT戦略およびIT利活用に関するポイントを理解できる。

対象者

- IT提案に経営者視点を加味したい方。
- IT開発・IT導入の前工程を学びたい方。
- デジタル経営企画業務に興味を持つ方。
- ITユーザー企業へIT開発・IT導入を提案する方。
- ITコーディネータ資格をめざす方。

前提知識

特に必要としません。

内 容

【講義】

- ITコーディネータプロセスガイドラインの理解
- 価値実現サイクルの理解
  - デジタル経営実行計画プロセス
  - IT開発・導入プロセス
  - 価値提供・運用プロセス

【演習課題】


- デジタル経営実行計画の情報収集と分析
- デジタル経営実行計画の作成
- ITシステム開発の実施
- ITシステム導入の実施
- 価値提供と運用

受講料

¥88,000

オンライン

コースコード CDV029



グループ演習

2日間

(PDU) IT経営ストラテジ  
(デジタル経営戦略コース)

【パーソル総合研究所 ライブ配信】 **PDU**

このコースは、ITコーディネータ協会が発刊する「ITコーディネータ・プロセスガイドライン」に準拠し、デジタル経営を推進するプロセスである「デジタル経営成長サイクル」の「デジタル経営戦略プロセス」を中心に学習します。

このコースでは、企業ケース事例を用いながら経営課題やデジタル上の課題を引き出し、デジタル経営実現のための「デジタル経営戦略」を策定し、その実行を評価する「価値提供検証プロセス」の活動を通じて「プロセス・アクティビティ・タスクの改善」の提案や実行の重要性を理解します。

このコースは、「経済産業省推進資格ITコーディネータ」を取得するための「ケース研修の受講・修了」の一部として認定され、ITコーディネータ資格の取得をめざす人にとって推奨される研修になっています。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：16ポイント)の取得が可能です。

到達目標

- IT経営の戦略策定と評価のポイントについて理解できる。
- 経営者視点に基づいた経営戦略の策定に関するポイントを理解できる。

対象者

- IT提案に経営者視点を加味したい方。
- デジタル経営実行計画の前工程を学びたい方。
- デジタル経営企画業務に興味を持つ方。
- 経営改革または業務改革を提案する方。
- ITコーディネータ資格をめざす方。

前提知識

特に必要としません。

内 容

【講義】


- ITコーディネータプロセスガイドラインの理解
- デジタル経営成長サイクルの理解
  - (デジタル経営戦略)プロセス
  - 価値実現サイクルの理解
    - (1) 価値提供・運用プロセス
    - (2) 提供価値検証プロセス


【演習課題】

- デジタル経営の情報収集と分析
- あるべき姿の構築
- 経営リスクの評価と対応
- デジタル経営戦略の策定
- デジタル経営戦略の展開
- 提供価値の検証とフィードバック

受講料


¥88,000

オンライン		コースコード	CDV016
 レクチャ 2日間	<b>(PDU) IT経営ストラテジ (変革認識コース)</b> 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 <b>PDU</b>		
	このコースではIT経営の上流となる変革認識および、ITコーディネータプロセスガイドラインを学ぶことを通じて、ITコーディネータケース研修に相当する知識をトータルで修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：16ポイント)の取得が可能です。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"><li>経営に必要な変革の必要性および、組織の変革ニーズを整理し、コンセンサスとコミットメントを得ることができる。</li><li>ITコーディネータプロセスガイドラインの概要を把握し、自らの変革プロジェクトに適用できる。</li></ul>		
対象者	<ul style="list-style-type: none"><li>IT提案に経営者視点を加味したい方。</li><li>IT戦略の前工程を学びたい方。</li><li>経営企画業務に携わる方。</li><li>経営改革または業務改革を提案する方。</li></ul>		
前提知識	「IT経営ストラテジ(デジタル経営戦略コース)」および「IT経営ストラテジ(デジタル経営実行計画コース)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。		
内 容	<ol style="list-style-type: none"><li>1. IT経営認識領域と変革認識プロセスの理解</li><li>2. 持続的成長認識プロセスの理解</li><li>3. 変革マネジメントプロセスの理解とまとめ</li><li>4. IT経営共通領域の理解</li></ol>		
受講料	¥88,000		

オンライン	コースコード	CTV098
<div></div> <div>1日間</div>	<b>IT主導で攻めのビジネスを実現するための ビジネス要件とIT企画の作り方</b> 【バーチャル・クラスルーム】	
	ITを全面的に活用することでこれまでになかった新しいビジネスを実現する企業がどんどん生まれています。自社においてこのような取り組みをどのように進めれば良いのか。その最重要ポイントに絞って、書籍「ビジネスデザイン」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・ITの真の価値について説明できる。</li><li>・顧客ニーズの設定手法について説明できる。</li><li>・ビジネスシナリオの作り方について説明できる。</li></ul>	
対象者	現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのが悩んでいる担当者（IT知識が無くても可）やシステムエンジニアの方。	
前提知識	5年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。情報システムの開発または運用に携わった経験があると尚良い。	
内 容	<ol style="list-style-type: none"><li>1. IT化と従来のシステム化の違い</li><li>2. ビジネスと顧客</li><li>3. 顧客ニーズと提供価値</li><li>4. IT主導のビジネスシナリオ</li><li>5. 演習</li></ol>	
受講料	¥56,100	

オンライン

コースコード CTV087



グループ演習

2日間

(PDU) (CDU) ビジネスアナリシスに  
基づいた業務改善の顧客提案

【バーチャル・クラスルーム】 **PDU CDU**

このコースは、ビジネス分析のフレームワークを理解し適用するために必要な基礎知識を修得します。そのうえで、広い視点を持ちながら、顧客のビジネス戦略と齟齬のない「正しいソリューション」を提供するために適切なビジネス分析活動を実施し、システム化の構想を策定する方法を学習します。

このコースは、ラーニング・ツリー・インターナショナル(株)の講師が担当します(使用言語：日本語)。

このコースの担当講師は、OS・ミドルウェアからアプリケーションにいたるまで、ソフトウェア開発の要件定義や基本設計の実務経験豊富な方です。

このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：12ポイント)、CCBA®/CBAP®資格更新に必要なポイント(CDU：12ポイント)の取得が可能です。

到達目標

- ・ビジネス分析のフレームワークを理解し適用できる。
- ・ビジネス戦略に合致した、プロジェクトの目標、スコープ、要件の優先順位判定基準を策定しプロジェクトの立ち上げをスムーズに実施できる。
- ・業務レベルでの広い視点を持ちながら、システム化の構想を策定できる。

対象者

プロジェクトマネージャ、および顧客要件取りまとめ、社内情報システム、プレ活動、プロセス改善を担当される方。

前提知識

プロジェクト・マネジメント、顧客要件取りまとめ、社内情報システム構築、プレ活動、プロセス改善などの業務を行っているか、その経験がある方。

内 容

1. 顧客の期待に応えるソリューションを構築するための考慮点

(1)顧客は何を求めているのか？

(2)顧客プロジェクトのタイプ

2. ビジネスアナリシスのフレームワークとプロセス

(1)ビジネスアナリシス(ビジネス分析)、ビジネスアナリシス知識体系ガイド、ビジネスアナリシスのプロセス

3. ビジネスプロセスのモデリング

(1)業務フロー図とは？

(2)BPMによる業務フローの記述、業務改善と業務プロセス改善

4. ソリューション案の作成と評価

(1)代替案と評価方法、前提条件の明確化

5. コースのまとめ

受講料

¥160,600

オンライン	コースコード	PMV126	New
<div><div>三</div><div>レクチャ</div><div>1日間</div></div>	<div>(PDU) ビジネス価値を見える化する 戦略的IT投資効果の評価手法 【バーチャル・クラスルーム】 <b>PDU</b></div>		
<p>このコースは、IT投資がもたらすビジネス価値を定量的に評価し、戦略的な意思決定に活かすことを目的としています。</p> <p>このコースでは、IT投資効果の評価方法として広く取り入れられている主要な手法について、それぞれの基本的な考え方や特徴、違いを学習します。さらに、グループ演習を通じて、評価手法の実践的な使い方への理解を深めます。</p> <p>このコースを受講することで、自社または顧客のITコストの全体像が分かること、提供したシステムやサービスが期待した効果を上げているかを定量的に評価できること、顧客や経営層に対して成果をアピールできるようになることを狙いとしています。</p> <p>また、評価結果から課題や教訓を見出して、改善策を提案、推進できる力を養成します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"><li>IT投資プロジェクトの投資額を正しく算定できるようになる。</li><li>IT投資効果の評価手法の使い方を理解し、複数の手法を組み合わせてIT投資プロジェクトの事後評価ができるようになる。</li><li>評価結果を適切に経営層にレポートできるようになる。</li></ul>		
対象者	<ul style="list-style-type: none"><li>IT戦略やプロジェクト計画の企画・立案に携わる方。</li><li>IT投資効果进行评估し、経営層に報告、IT戦略への提言をされる方。</li><li>ビジネスアナリスト、プロジェクトマネージャーの方。</li></ul>		
前提知識	特に必要としません。		
内 容	<div>1. IT投資評価とは</div> <div>(1) IT投資評価とは</div> <div>(2) IT投資評価の実施状況、事後評価ができない理由</div> <div>(3) IT投資評価の目的、IT投資評価に関わる人の立場</div> <div>(4) IT投資評価のタイミングと視点</div> <div>2. IT投資額の算定</div> <div>(1) システムライフサイクルコスト</div> <div>(2) インシャルコストとランニングコスト</div> <div>(3) クラウドのコストについて</div> <div>(4) ITコストとは</div> <div>(5) 費用項目の分類</div> <div>(6) 社内人件費について</div> <div>(7) TCO(Total Cost of Ownership)、共通費の配賦</div> <div>3. 投資効果の評価手法</div> <div>(1) 投資タイプと適する評価手法</div> <div>(2) 財務的手法の基礎知識と使い分けのポイント</div> <div>(3) 非財務的手法の基礎知識と使い分けのポイント</div> <div>4. 経営管理手法を用いた評価手法</div> <div>(1) ABC / ABMによる評価方法</div> <div>(2) IT-BSCによる評価方法</div> <div>5. 投資効果が未達の場合の対応</div>		
受講料	¥56,100		



**マシン実習**  
マシンを使用しながらの研修



**グループ演習**  
グループ演習を中心とした研修



**レクチャ**  
座学による研修





**eラーニング**  
インターネット接続による自己学習





**自習テキスト**  
自習書による独習





オンライン	コースコード CTV089
 2日間	<b>(PDU) (CDU) 要件定義スキル基礎 ーロールプレイによる要求の引き出しー 【バーチャル・クラスルーム】 PDU CDU</b>
このコースでは、要件定義の進め方の概要について学びます。要件定義を進める上で共同的に必要なスキル（コミュニケーション、問題解決）について、内容の理解が容易な事例を用いた演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）、CCBA®/CBAP®資格更新に必要なポイント（CDU：12ポイント）の取得が可能です。	
<b>到達目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要件定義の進め方を理解し、説明できる。</li> <li>要件定義を進める際に、問題を理解・把握し、解決策を提示するための知識を説明できる。</li> <li>要件定義を進める際に、関係者と円滑にコミュニケーションを取るための知識を説明できる。</li> </ul>
<b>対象者</b>	要件定義の基礎的なスキルを学びたい方。
<b>前提知識</b>	特に必要としません。
<b>内 容</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>要件定義の全体手順 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 作業ステップ</li> <li>(2) 成果物</li> </ol> </li> <li>要件定義を進めるために必要となるコミュニケーション力 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ヒアリングのスキル</li> <li>(2) ミーティング進行のスキル</li> </ol> </li> <li>要件定義を進めるために必要となる問題解決力 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 問題分析のスキル</li> </ol> </li> </ol>
<b>受講料</b>	¥112,200

オンライン	コースコード SPV105	Renewal
 2日間	<b>(PDU) (CDU) システムのニーズ分析 【バーチャル・クラスルーム】 PDU CDU</b>	
企画や要件定義プロセス（超上流工程）に必須のニーズ分析手法について学ぶ実践力強化コースです。ステークホルダー（顧客やユーザーなど）のニーズを体系的に整理し、本質的な課題を抽出する考え方や手順を解説と演習を通して学習します。このコースは、ビジネスアナリシスの「引き出しとコラボレーション」「要求アナリシスとデザイン定義」、プロジェクトマネジメントの「要求事項の収集」「スコープの定義」に関連しています。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）、CCBA®/CBAP®資格更新に必要なポイント（CDU：12ポイント）の取得が可能です。		
<b>到達目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニーズ分析の基礎を説明できる。</li> <li>顧客の業務に一步踏み込み、的確なシステム化要件を導き出すまでの一連の基本動作を理解できる。</li> </ul>	
<b>対象者</b>	顧客の要求に合わせたシステム化要件の要求分析に関心のある方。 要件定義プロセスにて顧客との合意形成を助めたい方。	
<b>前提知識</b>	特に必要としません。	
<b>内 容</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ニーズ分析の位置付けと意義 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「上流工程」で行うべきこと</li> <li>(2) ニーズ分析の全体プロセス</li> <li>(3) ニーズ分析の意義</li> </ol> </li> <li>ニーズ分析のプロセス <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 準備フェーズ</li> <li>(2) 分析フェーズ</li> </ol> </li> </ol>	
<b>受講料</b>	¥95,700	


オンライン	コースコード SPV106	Renewal
 2日間	<b>(PDU) (CDU) 要件定義における業務の可視化を成功させる トレーニングー業務ニーズから導くシステム化要件ー 【バーチャル・クラスルーム】 PDU CDU</b>	
このコースは、ニーズ分析の結果をもとに、新しい業務・システムの要件を定義するトレーニングコースです。現行業務を可視化し、ニーズ分析の結果を用いて業務プロセスの改善ポイントを明確にし、新しい業務を実現するシステムの機能要件を定義することを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）、CCBA®/CBAP®資格更新に必要なポイント（CDU：12ポイント）の取得が可能です。		
<b>到達目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要件定義全体の流れについて説明できる。</li> <li>業務の可視化ができる。</li> <li>システムニーズを反映した新しい業務・システムの要件が整理できる。</li> </ul>	
<b>対象者</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要件定義のプロジェクトに今後参加される方、または参加したいと考えている方。</li> <li>要件定義の活動の取りまとめを行う方。</li> </ul>	
<b>前提知識</b>	「(PDU) (CDU) システムのニーズ分析」コースを修了しているか、または同等の知識があることが望ましい。	
<b>内 容</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>業務要件定義の位置付けと意義 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「超上流工程」(要件定義)で行うべきこと</li> <li>(2) 業務要件定義の全体プロセス</li> <li>(3) 業務要件定義の意義</li> </ol> </li> <li>業務要件定義のプロセス <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 業務プロセスデザインフェーズ</li> <li>(2) アプリケーションデザインフェーズ</li> </ol> </li> </ol>	
<b>受講料</b>	¥95,700	

オンライン	コースコード CTV090
 2日間	<b>(PDU) (CDU) ビジネスニーズに沿った ユーザー要件定義の実践力強化 【バーチャル・クラスルーム】 PDU CDU</b>
要件の取りまとめは、あらゆるプロダクト、サービス、システムのプロジェクトの要です。しかしながら、顧客やユーザーが真に必要なとしているものの要件をイメージできていない場合、上流工程は混沌とした状況に陥り、顧客・ユーザー視点の重要な要件が抜けたままシステムの要件定義へと移ってしまうケースがあります。これを未然に防ぐには、顧客やユーザーの視点からユーザーストーリーを作成してユーザー要件を識別し、文書化し、最適化を図った上で、ユーザーと合意することが有効です。このコースでは、明確に定義されたプロセスを用いて、ユーザー要件を獲得する上で必要な知識とスキルを講義・演習を通じて学習します。このコースは、ラーニング・ツリー・インターナショナル(株)の講師が担当します（使用言語：日本語）。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）、CCBA®/CBAP®資格更新に必要なポイント（CDU：12ポイント）の取得が可能です。	
<b>到達目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザーストーリーを用いてユーザー要件を獲得し、文書化・モデル化することができる。</li> <li>ユースケース手法を使用できる。</li> <li>ユースケースの精緻化・最適化を図ることができる。</li> </ul>
<b>対象者</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業種・職種を問わずプロダクト、システム、サービス、ソリューションの要件定義に従事される方。</li> <li>要件獲得をめざす方、上流工程の担当者、要件定義からシステム開発を担当する方。</li> </ul>
<b>前提知識</b>	特段、前提とするスキルはありませんが、ソフトウェアの開発経験があることが望ましい。 UML使用経験は特に必要ありません。
<b>内 容</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>要件定義のアプローチ</li> <li>ユーザー・業務フローとユースケースの作成 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ユーザーストーリーを想定し、ユースケース手法でまとめる</li> </ol> </li> <li>ユースケースの精緻化・最適化 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) トップダウンで段階的にユースケースを作成するスパイラル手法</li> <li>(2) リファクタリング技術を利用し、ユースケースを精緻化あるいは最適化</li> <li>(3) ユーザーストーリーを図示し、矛盾・重複・重複を排除し、同時にステークホルダーの理解を促すことで容易にユーザーの合意を得る</li> </ol> </li> <li>要件の妥当性確認とテストへの活用</li> </ol>
<b>受講料</b>	¥160,600

オンライン	コースコード CTV091
 2日間	<b>(PDU) (CDU) 上位ニーズから不断なく 正確にシステム要件を定義する実践力強化 【バーチャル・クラスルーム】 PDU CDU</b>
プロダクト、サービス、システムのプロジェクトを成功させるためには、「ビジネスニーズに沿ったユーザー要件/業務要件を正確に読み解き、それを正確且つ効率的にシステム要件へと落とし込む」一連の流れを意識した要件定義プロセスが重要となります。このプロセスをおさるかにすると、定義した要件の誤解釈・見落とし・誇大展開などにより、実際に開発する際に欠陥が混入し、以降の工程で何度も手戻りが発生したり、顧客やユーザーのニーズに合っていない成果物になってしまう可能性があります。このコースでは、ユーザー要件/業務要件を正確に読み解き、システムに対する制約や条件などのシステム要件を過不足なく明確に定義する手法を講義・演習を通じて学習します。このコースは、ラーニング・ツリー・インターナショナル(株)の講師が担当します（使用言語：日本語）。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）、CCBA®/CBAP®資格更新に必要なポイント（CDU：12ポイント）の取得が可能です。	
<b>到達目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザー要件/業務要件を元とした設計を円滑に実施するために、システム要件を定義できる。</li> <li>ユーザー要件/業務要件とシステム要件、設計が不断に繋がっていることを確認することができる。</li> </ul>
<b>対象者</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業種・職種を問わずプロダクト、システム、サービス、ソリューションの要件定義に従事される方。</li> <li>システム要件を受け取り、開発プロジェクトの指揮、設計、テスト、管理する方。</li> </ul> ※このコースは、ソフトウェア開発に重点を置いておりますが、ITプロジェクトに限定しておりません。OTプロジェクトでも活用できます。
<b>前提知識</b>	特に必要としませんが、ソフトウェアの開発経験があることが望ましいです。なお、UML使用経験は特に必要ありません。
<b>内 容</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ユーザー要件/業務要件の理解</li> <li>ユーザー要件/業務要件からシステム要件を定義 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) システム要件とは</li> <li>(2) I/F 要件（プロトタイプ、状態遷移図）</li> <li>(3) データ要件（クラス図）</li> <li>(4) プロセス要件</li> <li>(5) 非機能要件（信頼性・可用性・性能など）</li> </ol> </li> <li>要件の妥当性確認とテストへの活用</li> </ol>
<b>受講料</b>	¥160,600

オンライン	コースコード CTV099
 1日間	<b>現場主導で現状業務の見える化を 推進するための業務フロー作成技法 【バーチャル・クラスルーム】</b>
RPAなどの現場主導によるIT化/業務改善がますます増えています。このような取り組みを推進するには現行業務の見える化が不可欠です。しかし業務の見える化は決して簡単ではなく時間もかかるため、なかなか期待通りに進まず失速するケースも多々あります。多忙な現場担当者が割く時間を最小限に抑えながら精度の高い現場業務の見える化を実現するための方法について、書籍「はじめよう！プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な手法を紹介します。	
<b>到達目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務の構造について説明できる。</li> <li>業務フローの作成方法について説明できる。</li> </ul>
<b>対象者</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産性向上や働き改革などのテーマに取り組まなければならないがどこからどう進めれば良いか悩みの方。</li> <li>現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのかわかっている担当者（IT知識が無くても可）やシステムエンジニアの方。</li> </ul>
<b>前提知識</b>	1年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。
<b>内 容</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. どうして業務改善が難しいのか</li> <li>2. 業務の構造</li> <li>3. 見える化が難しい理由</li> <li>4. 業務フロー作成技法</li> <li>5. 見える化の罫を乗り越える</li> <li>6. 演習</li> </ol>
<b>受講料</b>	¥56,100

マシン実習  
マシンを使用しながらの研修グループ演習  
グループ演習を中心とした研修レクチャ  
座学による研修eラーニング  
インターネット接続による自己学習自習テキスト  
自習書による独習

オンライン		コースコード CTV100
 レクチャ 1日間	<b>既存システムの改修／リプレースのための 現行システム要件と利用業務状況の 洗い出し方【バーチャル・クラスルーム】</b>	
	<p>21世紀も四半世紀を過ぎた今、既存システムの高度化・デジタルビジネス対応は喫緊の課題です。しかし多くの取り組みで発生している問題は現状の利用実態を把握しきれず必要な業務ニーズを取りこぼすことです。これを予防するには現行システムの利用状況をしっかりと把握する必要があります。ともすればドキュメントが揃ってなかったりする現実において、現状の洗い出しを高速かつ簡便に実現する方法について、書籍「はじめよう!要件定義」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の構造について説明できる。</li> <li>・業務フローの作成方法について説明できる。</li> <li>・見える化の罫について説明できる。</li> </ul>	
対象者	現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいる担当者 (IT知識が無くて可) やシステムエンジニアの方。	
前提知識	3年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。情報システムの開発または運用に携わった経験があると尚良い。	
内 容	1. 「現行通り」とは何か 2. 洗い出すべきもの 3. システム要件と業務の関係 4. ユーザの期待と失望 5. 洗い出しの手順 6. 演習	
受講料	¥56,100	

# ビジネスアナリシス 資格取得

ビジネスアナリシスの国際資格CBAP®/CCBA®  
(IIBA®認定)の取得・更新に役立つコース群です。

## ビジネスアナリシス資格取得

### IIBA® CBAP®/CCBA®資格受験コース


レベル1	レベル2	レベル3
	<div> <b>PDU CDU</b>  <b>CTV078</b> オンライン  (PDU)(CDU)  ビジネスアナリシス基礎  【パーソル総合研究所 ライブ配信】  レクチャ   2日間 </div> <div> <b>Renewal PDU CDU</b>  <b>CDV042</b> オンライン  (PDU)(CDU)  CBAP®試験対策コース  【パーソル総合研究所 ライブ配信】  レクチャ   3日間 </div>	


### IIBA® CBAP®/CCBA®資格更新コース

レベル1	レベル2	レベル3
<div> <b>PDU CDU</b>  <b>CTV089</b> オンライン  (PDU)(CDU)要件定義スキル  基礎-ロールプレイによる  要求の引き出し-  グループ演習   2日間 </div>	<div> <b>Renewal PDU CDU</b>  <b>SPV105</b> オンライン  (PDU)(CDU)  システムのニーズ分析  グループ演習   2日間 </div> <div> <b>業務要件(業務改革)</b>  <b>Renewal PDU CDU</b>  <b>SPV106</b> オンライン  (PDU)(CDU)要件定義における  業務の可視化を成功させるトレーニング  -業務ニーズから導くシステム化要件-  グループ演習   2日間 </div> <div> <b>ユーザー要件</b> <b>PDU CDU</b>  <b>CTV090</b> オンライン  (PDU)(CDU)  ビジネスニーズに沿った  ユーザー要件定義の実践力強化  グループ演習   2日間 </div> <div> <b>システム要件</b> <b>PDU CDU</b>  <b>CTV091</b> オンライン  (PDU)(CDU)上位ニーズから  不断なく正確にシステム要件を  定義する実践力強化  グループ演習   2日間 </div> <div> <b>PDU CDU</b>  <b>CTV087</b> オンライン  (PDU)(CDU)ビジネスアナリシス  に基づいた業務改善の顧客提案  【パーソル総合研究所 ライブ配信】  グループ演習   2日間 </div>	

レベル1 : 要件定義の経験がほとんど無い方、または、要件定義の経験が比較的浅い方  
レベル2 : 要件定義の経験がある程度ある方で、マネージャ候補の方、またはマネージャとして活動を開始された方  
レベル3 : 複数の要件定義の経験を有し、マネージャとして活動されている方



オンライン	コースコード CTV078
 <b>レクチャ</b> <b>2日間</b>	<b>(PDU) (CDU) ビジネスアナリシス基礎</b> <b>【パーソル総合研究所 ライブ配信】</b> <b>PDU CDU</b>
<p>多くの人が、「ビジネスアナリシス」という領域を知らないまま、ビジネスアナリスト(BA)の役割を担っていたり、または、無意識にビジネスアナリシスを行っているのが現状です。無意識にBA業務をしている組織のマネジャーや専門職の人は、BA業務は役職にかかわらず、企業にとって大きな価値をもたらすということを知らずにいることが多々あります。このビジネスアナリシス基礎では、「ビジネスアナリシスとは」から始まり、BABOK® V3.0の知識エリアに沿った形でビジネスアナリシスの基礎的なフレームワークや考え方を学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>米国PMI®認定コースに認定されており、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。</li> <li>IIBA®認定コースに認定されており、CBAP®資格更新に必要なポイント(CDU：14ポイント)および、受験に必要な事前学習時間(14時間)の取得が可能です。</li> <li>ITコーディネータ協会の実践力ポイント対象コースに認定されており、認定学習時間(14時間)/7ポイントの取得が可能です。</li> </ul>	
<b>到達目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略から適切なソリューションを導く。</li> <li>要求の引き出し方法、分析方法を理解できる。</li> <li>要求の検証と妥当性の方法を学ぶ。</li> <li>ソリューションの評価方法を学ぶ。</li> </ul>
<b>対象者</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>BABOK®を知りたい方、ビジネスアナリシスを学びたい方。</li> <li>ビジネス価値を生むことに責任を持ち、プロジェクト・ベースで仕事をする全ての方。</li> </ul>
<b>前提知識</b>	特に必要としません。
<b>内 容</b>	<b>【1日目】</b> イントロダクション 1. ビジネスアナリシスとは 2. 戦略を分析する 3. 要求を引き出す <b>【2日目】</b> 4. 要求を分析する 5. 要求のライフサイクルをマネジメントする 6. ソリューションを評価する 7. ビジネスアナリシスの計画を立てる ※各章にて演習・ケーススタディを実施します。
<b>受講料</b>	¥99,000

オンライン	コースコード CDV042	<i>Renewal</i>
 <b>レクチャ</b> <b>3日間</b>	<b>(PDU) (CDU) CBAP®試験対策コース</b> <b>【パーソル総合研究所 ライブ配信】</b> <b>PDU CDU</b>	
<p>CBAP®試験は米国の非営利団体IIBA (International Institute of Business Analysis) が認定する資格で、日本語での受験が可能な資格です。そのCBAP®資格を取得するための試験対策として、米国Strategy Execution社のノウハウを活用し、合格に向けた学習ポイントを修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：24ポイント)、CCBA®/CBAP®資格更新に必要なポイント(CDU：24ポイント)の取得が可能です。</p>		
<b>到達目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>BABOK®の全体像と基礎知識を深く掘り下げ、合格に向けた学習ポイントや試験傾向と対策を説明できる。</li> <li>現状知識の強いエリア・弱いエリアを明確にし、受験に向けた強化ポイントを説明できる。</li> <li>CBAP®およびIIBAに関する知識と受験申請の手続き、受験に際しての心構えについて説明できる。</li> </ul>	
<b>対象者</b>	CBAP®資格取得をめざす方。	
<b>前提知識</b>	BABOK®の基礎知識を修得済みのこと。	
<b>内 容</b>	1. 試験概要／受験申請手続き 2. 基本概念 3. 計画と監視 4. 引き出しとコラボレーション 5. 戦略アナリシス 6. 要求分析とデザイン定義 7. ソリューション評価 8. 基礎コンピテンシー 9. 要求ライフサイクル管理 10. パースペクティブ 11. 150問模擬試験／解答解説	
<b>受講料</b>	¥165,000	



**マシン実習**  
マシンを使用しながらの研修



**グループ演習**  
グループ演習を中心とした研修



**レクチャ**  
座学による研修



**eラーニング**  
インターネット接続による自己学習



**自習テキスト**  
自習書による独習

## 各種研修サービスに関するお問い合わせ

---

**東 京**

TEL : 03-5471-8962    FAX : 03-5471-2564

**大 阪**

TEL : 06-4797-7360    FAX : 06-4797-7361

日立講習会お問い合わせ窓口 ▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/inquiry/index.html>